

# 東海経済レポート

## （2017 年 5 月）

～企業部門、家計部門ともに緩やかな回復基調を維持～

### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は全体として、緩やかな回復を続けている。企業部門では、足元の生産が一進一退となっているものの、輸出は前年比増加を続けている。家計部門では、引き締まった雇用環境の下、自動車販売や小売売上高などが堅調さを維持している。
  - ▶ 生産は、3月の鉱工業生産指数が前月比▲1.4%と2ヵ月ぶりに低下。生産用機械や電気機械は2ヵ月連続で前月比増加するなど増勢を維持しているものの、主力の輸送機械が同▲3.1%と2ヵ月ぶりに低下したほか、電子部品・デバイスも同▲9.4%と2ヵ月連続で低下し、生産全体を下押しした。
  - ▶ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の3月の国内受注額が前年比▲3.1%と4ヵ月ぶりに減少。自動車工業からの受注は2ヵ月連続で前年比2桁増と堅調な伸びを維持したものの、国内受注の約5割を占める一般機械工業からの受注が同▲10.5%と減少し、全体の下押し要因となった。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、3月に前年比+7.2%と2ヵ月連続で増加し、金額も2014年12月以来の高水準となった。相手国別では、中国向けが2ヵ月連続で前年比+20%超となったほか、米国向けやEU向け、アジア向けなども軒並み増加した。品目別では、自動車は前年割れとなったものの、自動車部品が5ヵ月連続で前年比2桁増と好調なほか、他品目も総じて前年比増を維持した。
  - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。3月の有効求人倍率は、愛知県が1.77倍と2008年6月以来となる高水準へ上昇。岐阜県も1.75倍へ、三重県も1.47倍へそれぞれ上昇。引き続きリーマン・ショック後の最高レベルで推移中。
  - ▶ 個人消費は、3月の小売主要3業態の販売が前年比+0.2%と、2ヵ月ぶりにプラスとなった。スーパーが4ヵ月連続マイナスとなったものの、コンビニが堅調な伸びを維持したことに加え、百貨店が15ヵ月ぶりにプラス転化した。また、3月の新車販売台数は同+7.9%と、9ヵ月連続の増加となった。
  - ▶ 住宅着工は、3月に年率換算で8.5万戸と前年比▲0.8%減少し、3ヵ月ぶりに前年比マイナスとなった。貸家と戸建て分譲が前年比プラスとなったものの、持家と分譲マンションが3ヵ月連続で減少となり、全体を下押し。

### 【生産①】

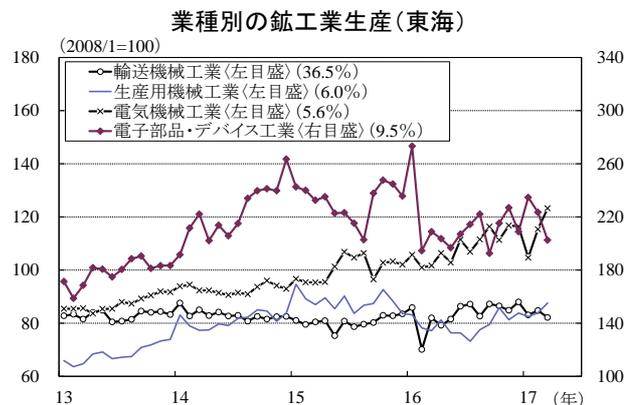
3月の鉱工業生産指数は前月比▲1.4%と2ヵ月ぶりに低下。



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

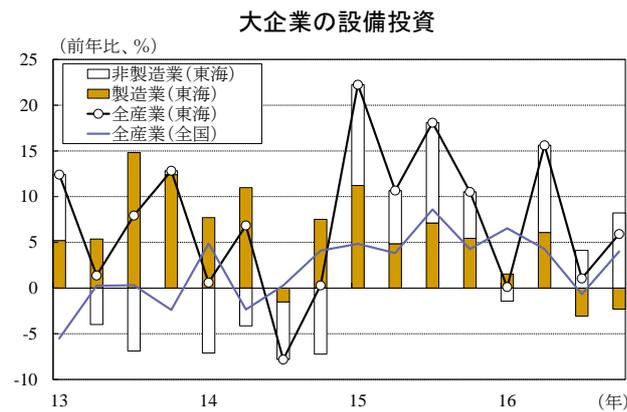
業種別では、電子部品・デバイスが前月比▲9.4%、輸送機械が同▲3.1%下落し、全体を下押し。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

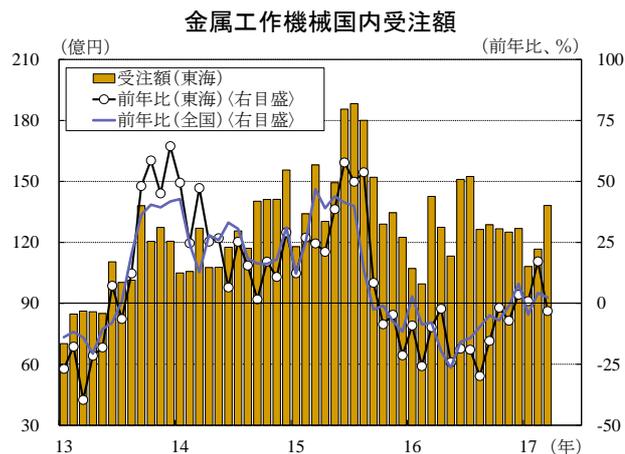
10-12月期の大企業の設備投資は、前年比+5.9%と9四半期連続で増加。非製造業の2桁増が牽引。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

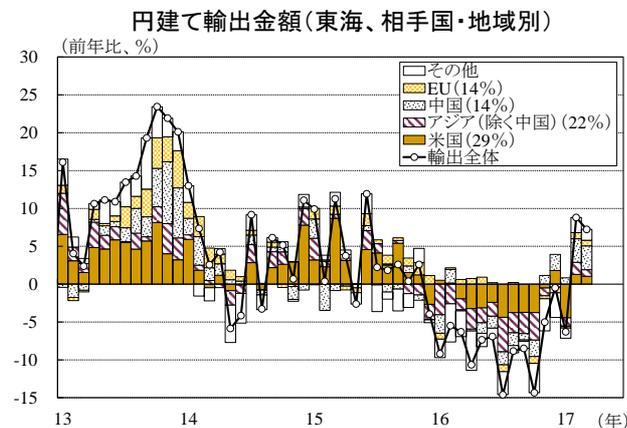
金属工作機械の国内受注額は3月に前年比▲3.1%と、4ヵ月ぶりにマイナス転化。



(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

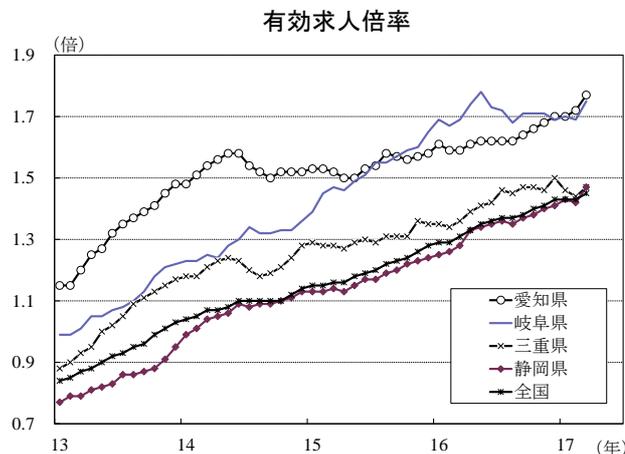
3月の輸出額(円ベース)は、前年比+7.2%と2ヵ月連続で増加。



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

3月の有効求人倍率は愛知県が1.77倍と、2008年6月以来の高水準に上昇。岐阜県、三重県も上昇。

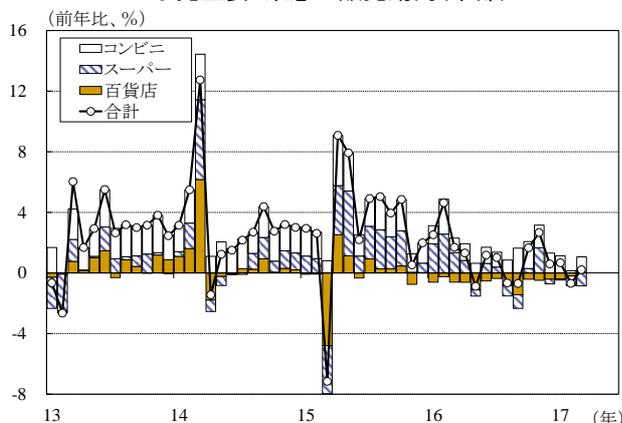


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したものの。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【個人消費】

3月の小売主要3業態の販売は前年比+0.2%と2ヵ月ぶりに増加。百貨店が15ヵ月ぶりにプラス転化。

小売主要3業態の販売動向(中部)

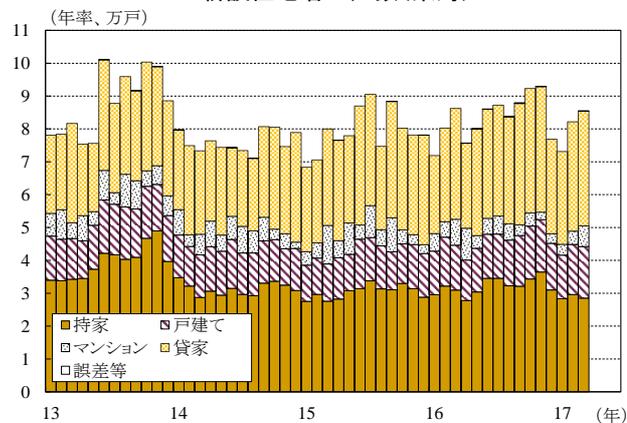


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【住宅投資】

3月の住宅着工戸数は年率換算で8.5万戸と、前年比▲0.8%。持家が3ヵ月連続減少し、全体を下押し。

新設住宅着工戸数(東海)

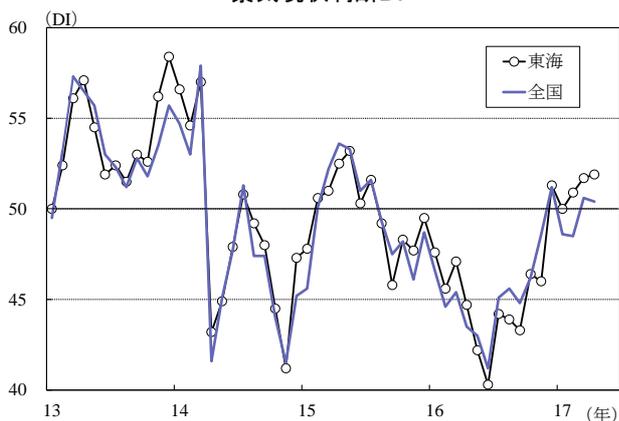


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【景気ウォッチャー調査】

4月の景気現状判断DIは51.9と、3ヵ月連続で上昇。好不調分かれ目の50及び全国を上回る水準を維持。

景気現状判断DI

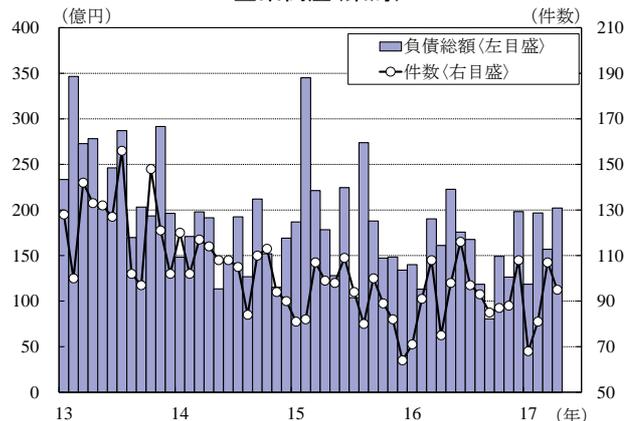


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【倒産件数】

4月の企業倒産件数は95件で前年比+26.7%、負債総額は同+25.5%と、件数・負債総額ともに増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【原油価格】

WTI先物は、米国の原油在庫減少と協調減産延長への期待等を下支えに、1バレル47ドル前後で推移。

原油価格

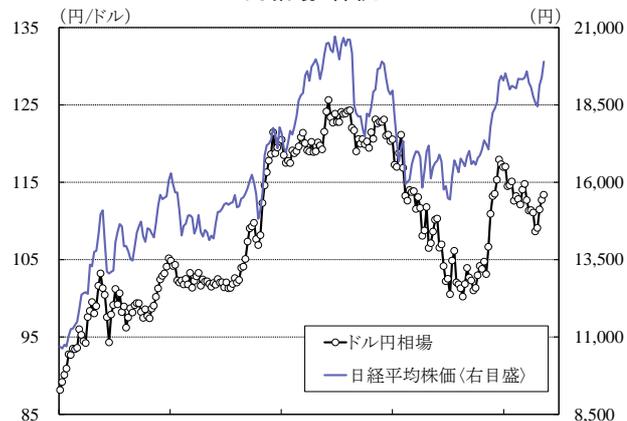


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【円相場・株価】

フランス大統領選挙の結果等を受け世界的にリスク警戒感が後退。円相場では円安が進行し、株価も上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。